

# 令和初の松絳祭、盛大に開催される

## 松絳タイムズ

発行  
米子松蔭高等学校  
生徒会



今年の松絳祭も大いに盛り上がったのではないのでしょうか。

### 順延乗り切る 生徒一同祭りを楽しむ三日間

二〇一九年一〇月一六日(水)から二二日(月)にかけて、米子松蔭高等学校校祭「松絳祭(しようこうさい)」が開催された。アクシデントが連続したものの、概ね成功裡に終わった松絳祭について、本紙で総力レポートする。

今年も米子松蔭高等学校校祭「松絳祭」の名物企画である、カラオケ大会が盛大に開催された。昨年度のカラオケ大会と比較して今年度は、歌唱力に自信のあるシンガーによるソロでの参加が目立ちました。

まずトップを飾ったのは、三年組の「天気の子」の主題歌として話題になったRADWIMPSの「愛にできることはまだあるかい」を、

トッパッターにふさわしい歌唱力で歌いあげました。中盤では、某一年生女子が千と千尋の神隠しで有名な「いのちの名前」を圧倒的歌唱力で披露しました。聴衆もその歌唱力の前には、聞きほれるばかりでした。

### 模擬店「ぎわう」

今年の松絳祭も趣向を凝らしたユニークな模擬店が多く開かれました。

本紙記者がすべての店を回ったなかで、特に気になったものをピックアップします。まず気になったのは三年A組の「スナックかずみ」。学校祭では定番のお化け屋敷なのですが、お化け屋敷を出るとなぜか「きゅうり」がもらえるという、店名も何もかも、何が何なのかよく分からないユニークなお店でした。

徒会副会長です。福山雅治の「家族になろうよ」を、低音の響く深みのある歌声で歌い上げました。しみじみとした歌唱で「家族って良いな」と皆さん感じたのではないのでしょうか。父の日や母の日には「ありがどう」の一言があってもよいのかもしれないですね。

## リュウ先生、文化の部でヴァイオリン披露

松絳祭では以前から、茶道部によるお茶席が開かれており、これは本格的なお茶を味わうことができる毎年好評を得ています。そんな茶道部のお茶席に今年、激震が走りました。なんと茶道部のお茶席において、英語のリユウ先生がヴァイオリンを演奏していたのです。皆さんはこの特別な演奏を聞かれましたか。

ここに世紀のコラボレーションが実現したのです。これにはお茶を飲みに来られたお客様も驚かれると同時に、そのヴァイオリンの音色と、お茶の味に心から癒されている様子でした。これに際して茶道部部長は「茶道部のお茶席に足を運んでくださった皆様、そして素敵なヴァイオリンの音色を校内に響かせてくださったリュウ先生ありがとうございます。今後も様々な取り組みをしてお客様を喜ばせたいと思います」とのコメントを発表しました。

## 体育の部、最大の危機

松絳祭三日目に予定されていた体育の部でしたが、前日から「雨が降るぞ降るぞ」と言われていたため、やむなくその日は順延となりました。順延となると、その日まで準備していたものを一度片付ける必要があり、また当日朝にはグラウンドにできた水たまりをすべて吸水し、各種目の道具や設営を再び準備しなければなりません。こういった作業がスムーズに進行できなければ、体育の部の開催は難しくなります。当日はどうなることか、準備は間に合うのかと生徒会全体で不安がっていました。ところがそこ心強い助っ人が現れたのです。なんとソフトテニス部やサッカー部のみなさんが協力してくださり、その結果滞りなく準備作業を終えることが

## 最後までハッピー

「雨天順延」という予測の事態を、さまざまな方の協力で乗り切った体育の部ですが、何をするにも最後の最後まで油断は禁物です。前日までの雨の影響で、少し肌寒い中行われた体育の部も綱引きや大縄跳びなど、手に汗握る、生徒の闘志あふれるプレーにより最後は熱いものとなりました。そして最終種目である色別団対抗リレーが終わり、閉会式が始まりました。

本来自らいつたミスはあってはならないものですが、今回取り上げた体育の部のハッピーな部分によってかえって生徒の皆さんの記憶に残る松絳祭になったのではないかと思います。来年の松絳祭にもご協力お願いいたします。

※個人情報保護の観点からデジタル版では、生徒氏名を隠しています。